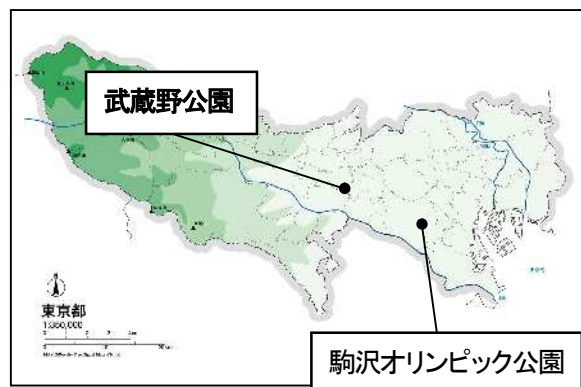


都立武蔵野公園におけるスケートボード広場の整備について

1. はじめに

東京2020大会以降、スケートボードの人气が高まっており、各自治体や民間により様々なレベルの利用者を対象とした施設整備が進んでいる。都立公園においても気軽にスケートボードを楽しみたいという声がある一方、スケートボード施設は、公園利用者や近隣住民に対して、騒音や安全面での配慮が必要となるものである。実情に応じたルールを設定したうえで、広場での利用が認められている都立公園は複数あるが、スケートボード専用施設として整備されているのは、区部の駒沢オリンピック公園のみ（※）であった。



こうした背景から、今回、多摩地域の都立公園における初のスケートボード専用施設として、新たに都立武蔵野公園スケートボード広場が整備され、令和7年6月にオープンした。本稿では、本広場の整備にあたっての設計や工事における取組について紹介をする。（※この他、Park-PFIにより整備した代々木公園のスケートボード施設等がある）

2. スケートボード広場の整備方針

武蔵野公園は、府中市と小金井市にまたがり、周辺の都立公園や国分寺崖線などの「緑のネットワーク」の中心に位置する面積25.6haの都市計画公園である。野川が公園東西を横断しており、川沿いや崖線の樹林地等の風景を楽しめる自然豊かな公園となっている。その中で、管理所横にある広場の一部は、これまで愛好家たちがスケートボードを楽しむエリアとして利用されていたが、広場の位置や規模、他の公園利用との兼ね合い、騒音への配慮等との諸条件を踏まえ、都として本エリアを改めて専用施設として整備する方針とした。このような背景から、「地域に親しまれる緑陰のスケートパーク」をテーマに、武蔵野の緑と調和した初心者から気軽に楽しめるパーク整備が進められた。

2. 1. 緑豊かな武蔵野公園と調和するパーク

武蔵野の緑豊かな風景と調和するパークとなるよう、広場の既存樹木を生かした施設配置とし、植栽枠の周りの縁石等もセクションの一部として利用できるように整備するなど、緑陰の中でスケートボードを楽しめる設えとした。

（写真―1）またランプと呼ばれるセクションの色については、園内の景観にもなじむよう、グリーンやブラウンを採用している。他にも、一般公園利用者の安全配慮のため、ボード飛び出しに配慮したフェンスで周囲を囲い、広場の脇には見学のためのスペースを設けている。

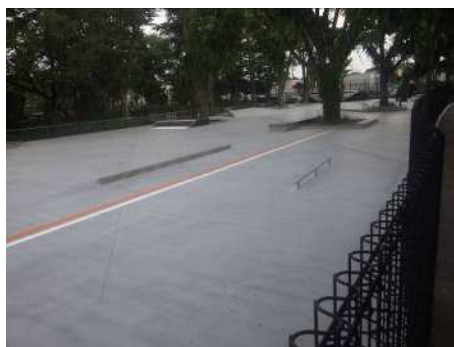
2. 2. 初心者から楽しめるパーク

入門レベルからでも滑走しやすいよう、フラットなスペースをできるだけ広く確保しつつ、初級から中級へステップアップしていく楽しさを味わえるよう、レベル別のゾーニングとセクション配置を行った。（写真―2）またセクションの順番待ちスペースを踏まえた施設配置を行い、スケーター達が安全かつ快適に楽しめるよう工夫をしている。

舗装については、滑走性と耐久性を考慮し、コンクリート舗装及び表面強化剤仕上げを採用した。



写真—1



写真—2

3. 工事施工における工夫

本工事は、スケートボード専用の広場の整備であり、一般の公園整備とは異なる品質管理が求められた。また、標準的な基準がないため、独自の基準を設定する等、施工について工夫した。

3. 1. 広場の高さ管理

広場の舗装であれば、排水のことを考慮して勾配をつけるのが一般的であるが、スケートボード広場の場合は、勾配をつけると滑走しづらくなるほか、思っていた場所とは違う方向に進行してしまう可能性もあり、危険である。そこで、施工中は、2.5mピッチでメッシュを切り、細かく高さの管理を実施した。誤差は概ね1mm以下に抑え、利用しやすく、安全な舗装を目指した。

3. 2. 滑走面の表面仕上げ

滑走面であるコンクリート舗装の仕上げには、やすりによる研磨と表面強化剤の塗布を行う仕様であったが、品質管理基準にこれらを管理する項目がないため、平滑性を数値化する機器を使用し、品質管理を行った。(写真—3) 結果、触感といった感覚に頼らず、均一に仕上げることができた。



写真—3

4. 競技団体との連携

スケートボードの協議団体と連携し、設計時のヒアリングや、竣工前の試走等を実施した。施工上の注意点や、利用性の確認等を行い、実際の利用者の視点を取り入れることができた。

また、施設の利用ルールづくりにあたっては、都立公園や他自治体の既存施設におけるルールを参考にしつつ、スケートボード団体による専門的見地から見た意見を取り入れることで、より安全かつ便利に利用できるルールづくりを目指した。

5. おわりに

アーバンスポーツとしてのスケートボードは、オリンピックの追加競技として採用された東京2020大会を契機に、「新しい」スポーツの一つとして多くの人々に支持されている。本広場は、初心者でも気軽にスケートボードを体験できる施設であり、新しく競技をはじめるときの契機となることも期待される。多くの利用者に長く愛されるスケートボード広場になるよう、適切な運営や維持管理が望まれる。